

「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」

第7回フォローアップ調査結果

○調査の概要

調査対象: 国立大学86大学(回答率100%)

調査時点: 設問1～3…令和元年11月1日現在(原則)、設問4～6…令和元年度

調査方法: 国立大学へのアンケート(調査票)

調査期間: 令和元年11月6日～令和元年12月9日

(参考 総学生数)

(人数)

	平成24年	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年
	5月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在
学部	450,266	448,183	433,700	454,076	452,307	452,529	451,184	451,184
大学院	156,180	151,424	144,902	154,898	154,526	155,673	155,354	155,354
合計	606,446	599,607	578,602	608,974	606,833	608,202	606,538	606,538

	平成28年	平成29年		平成30年		令和1年	
	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在
学部	450,847	448,997	448,834	447,581	447,061	444,831	443,950
大学院	157,972	158,512	159,517	159,319	159,909	158,638	159,154
合計	608,819	607,509	608,351	606,900	606,970	603,469	603,104

(国立大学協会調査による)

1. 外国人留学生

目標 **2020年(令和2年)までに**受入れ留学生(外国人留学生)割合を学部・大学院合わせて**10%**にすることを旨す。

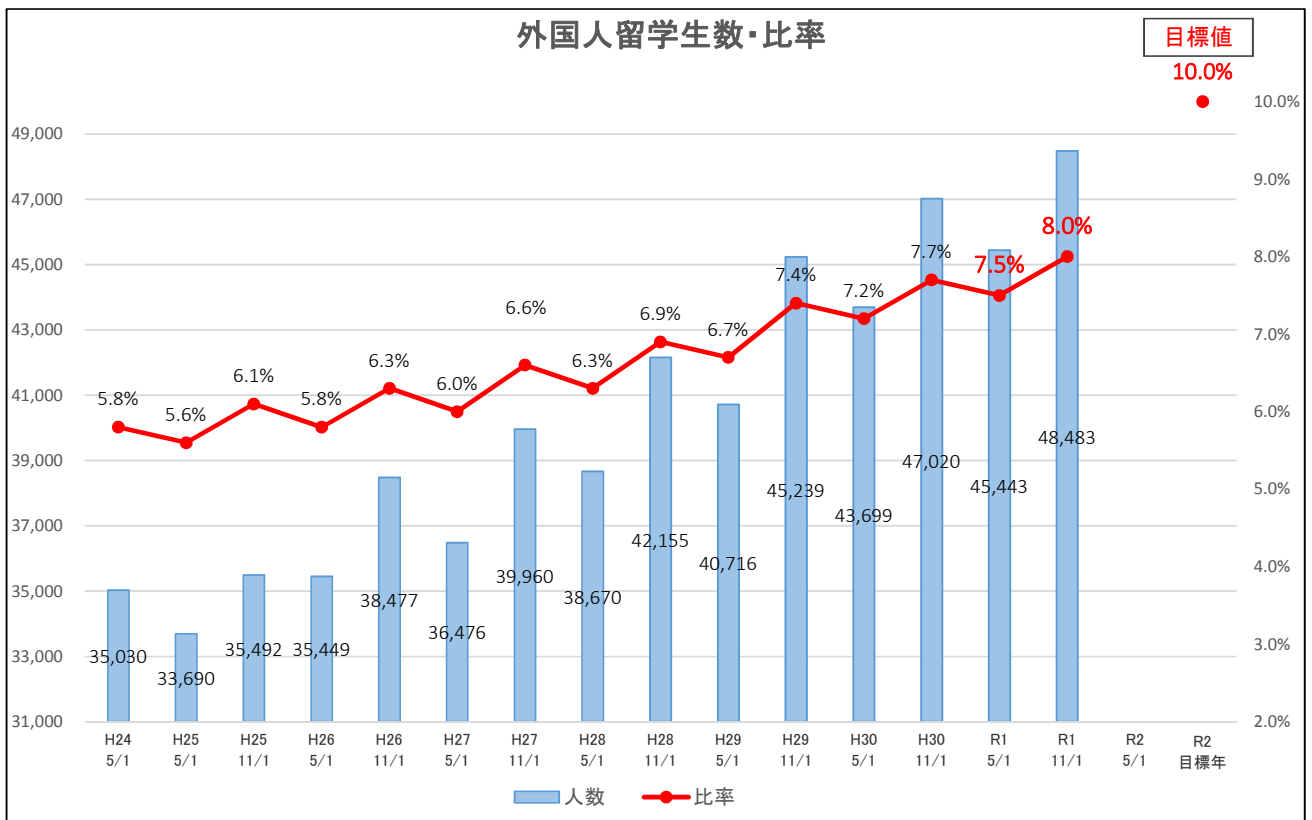
外国人留学生数

	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H25.11.1 現在	H26.5.1 現在	H26.11.1 現在	H27.5.1 現在	H27.11.1 現在	H28.5.1 現在
学部	9,881人 2.2%	9,525人 2.1%	10,302人 2.4%	10,941人 2.4%	12,180人 2.7%	11,020人 2.4%	12,213人 2.7%	11,514人 2.5%
大学院	25,149人 16.1%	24,165人 16.0%	25,190人 17.4%	24,508人 15.8%	26,297人 17.0%	25,456人 16.4%	27,747人 17.9%	27,156人 17.2%
合計	35,030人 5.8%	33,690人 5.6%	35,492人 6.1%	35,449人 5.8%	38,477人 6.3%	36,476人 6.0%	39,960人 6.6%	38,670人 6.3%

	H28.11.1 現在	H29.5.1 現在	H29.11.1 現在	H30.5.1 現在	H30.11.1 現在	R1.5.1 現在	R1.11.1 現在	H30.11.1と比較
学部	12,543人 2.8%	11,485人 2.6%	13,045人 2.9%	12,524人 2.8%	13,766人 3.1%	12,756人 2.9%	13,814人 3.1%	48人増 0.0%増
大学院	29,612人 18.7%	29,231人 18.4%	32,194人 20.2%	31,175人 19.6%	33,254人 20.8%	32,687人 20.6%	34,669人 21.8%	1,415人増 1.0%増
合計	42,155人 6.9%	40,716人 6.7%	45,239人 7.4%	43,699人 7.2%	47,020人 7.7%	45,443人 7.5%	48,483人 8.0%	1,463人増 0.3%増

※下段＝外国人留学生数／同年同月の総学生数×100(%)

※目標値を定めている大学 **62** / 86大学



2. 日本人学生の海外留学

目標 **2020年(令和2年)までに派遣留学生(日本人の海外留学)割合を学部・大学院合わせて5%**にすることを
目指す。

日本人学生の海外留学者数

		H23年度実績	H24年度実績	H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績
長期 (一年以上)	学部	506人	457人	302人	506人	816人	624人	348人	229人
	大学院	568人	479人	215人	206人	210人	213人	205人	197人
	小計	1,074人	936人	517人	712人	1,026人	837人	553人	426人
短期 (一年未満)	学部	7,844人	9,935人	11,223人	13,626人	14,651人	18,229人	19,594人	22,087人
	大学院	4,201人	6,432人	5,363人	6,077人	6,752人	7,589人	9,314人	10,315人
	小計	12,045人	16,367人	16,586人	19,703人	21,403人	25,818人	28,908人	32,402人
合計	学部	8,350人	10,392人	11,525人	14,132人	15,467人	18,853人	19,942人	22,316人
		1.9%	2.3%	2.6%	3.2%	3.5%	4.3%	4.6%	5.2%
	大学院	4,769人	6,911人	5,578人	6,283人	6,962人	7,802人	9,519人	10,512人
		3.0%	4.4%	4.4%	4.8%	5.3%	6.0%	7.4%	8.3%
	合計	13,119人	17,303人	17,103人	20,415人	22,429人	26,655人	29,461人	32,828人
		2.2%	2.9%	3.0%	3.6%	3.9%	4.7%	5.2%	5.9%

(注)H29年度実績については、大学からの数値訂正を反映したため、前回調査時の数値と一致しない。

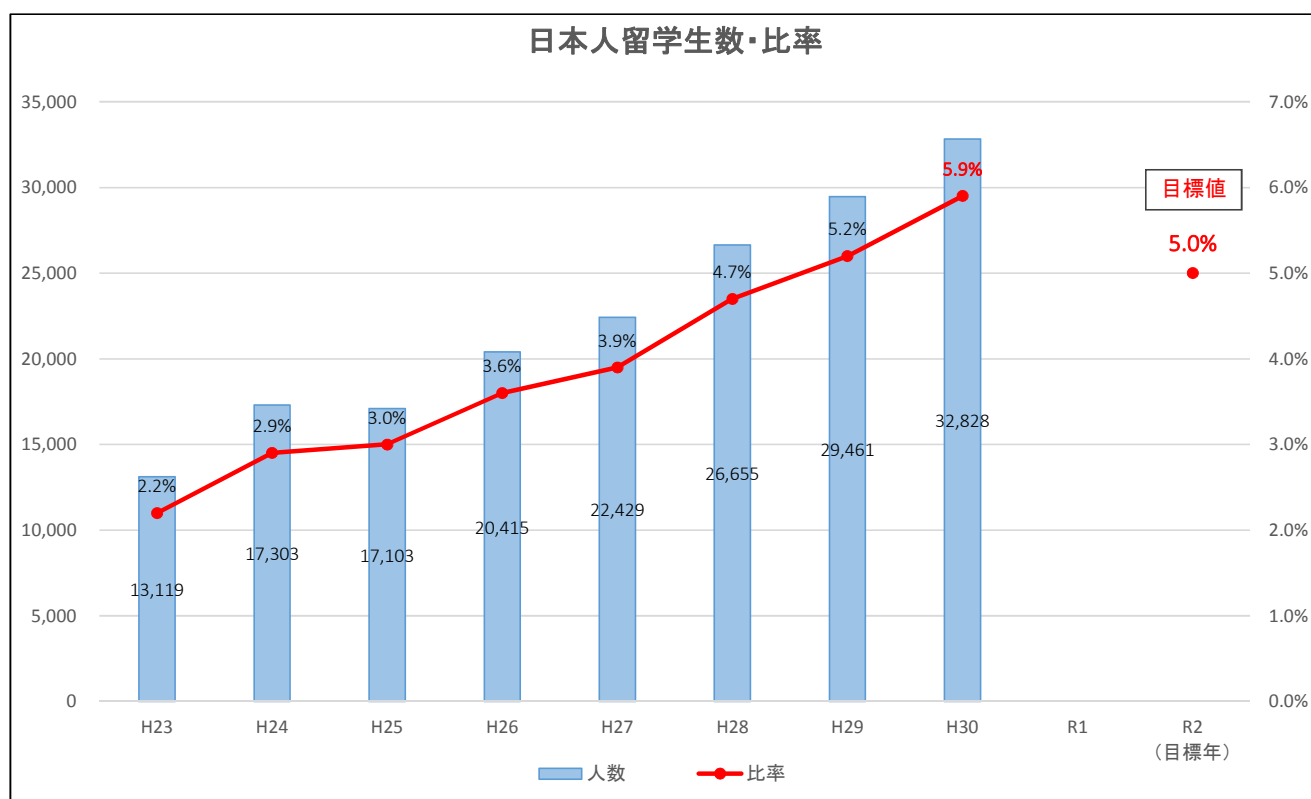
※[合計]下段について

平成23～24年度 海外留学者[日本人に限らない]／同年5月1日時点の総学生数×100(%)

平成25年度以降 海外留学者[日本人に限る]／(同年5月1日時点の総学生数－外国人留学生数)×100(%)

※目標値を定めている大学

65 / 86大学



3. 外国人教員

目標 **2020年までに外国人教員比率を倍増させることを目指す。**

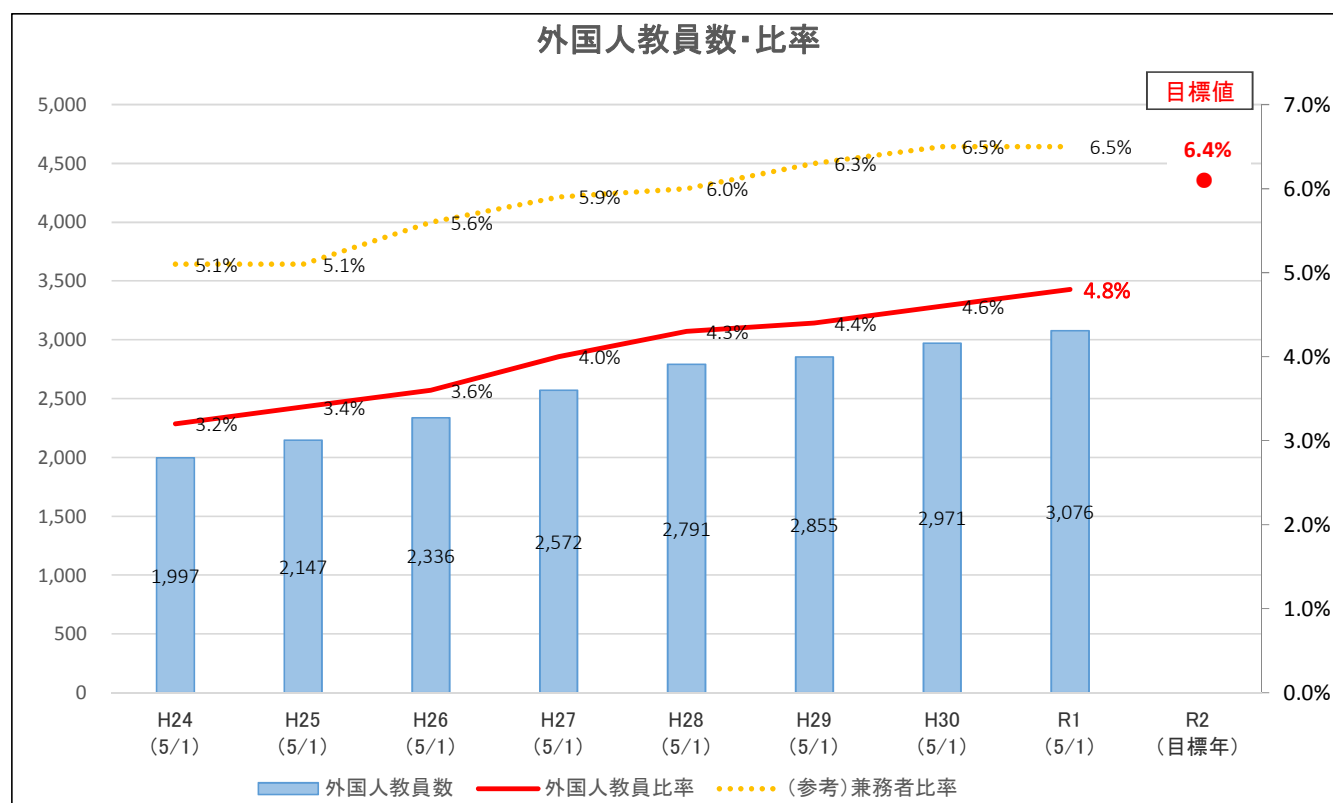
外国人教員数

	本務者							
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在	R1.5.1 現在
外国人教員数	1,997	2,147	2,336	2,572	2,791	2,855	2,971	3,076
教員数	62,825	63,218	64,114	64,515	64,318	64,280	64,433	63,935
外国人教員比率	3.2%	3.4%	3.6%	4.0%	4.3%	4.4%	4.6%	4.8%

	(参考)兼務者							
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在	R1.5.1 現在
外国人教員数	1,981	2,023	2,079	2,313	2,300	2,333	2,476	2,431
教員数	38,697	39,310	37,024	39,467	38,632	37,188	37,828	37,473
外国人教員比率	5.1%	5.1%	5.6%	5.9%	6.0%	6.3%	6.5%	6.5%

※目標値を定めている大学

33 / 86大学



4. 英語での授業

目標 **2020年までに**英語での授業実施科目数を学部、大学院とも**倍増**させることを目指す。

(1) 英語での授業

※平成24年度の授業科目数には、語学としての授業科目を一部含む

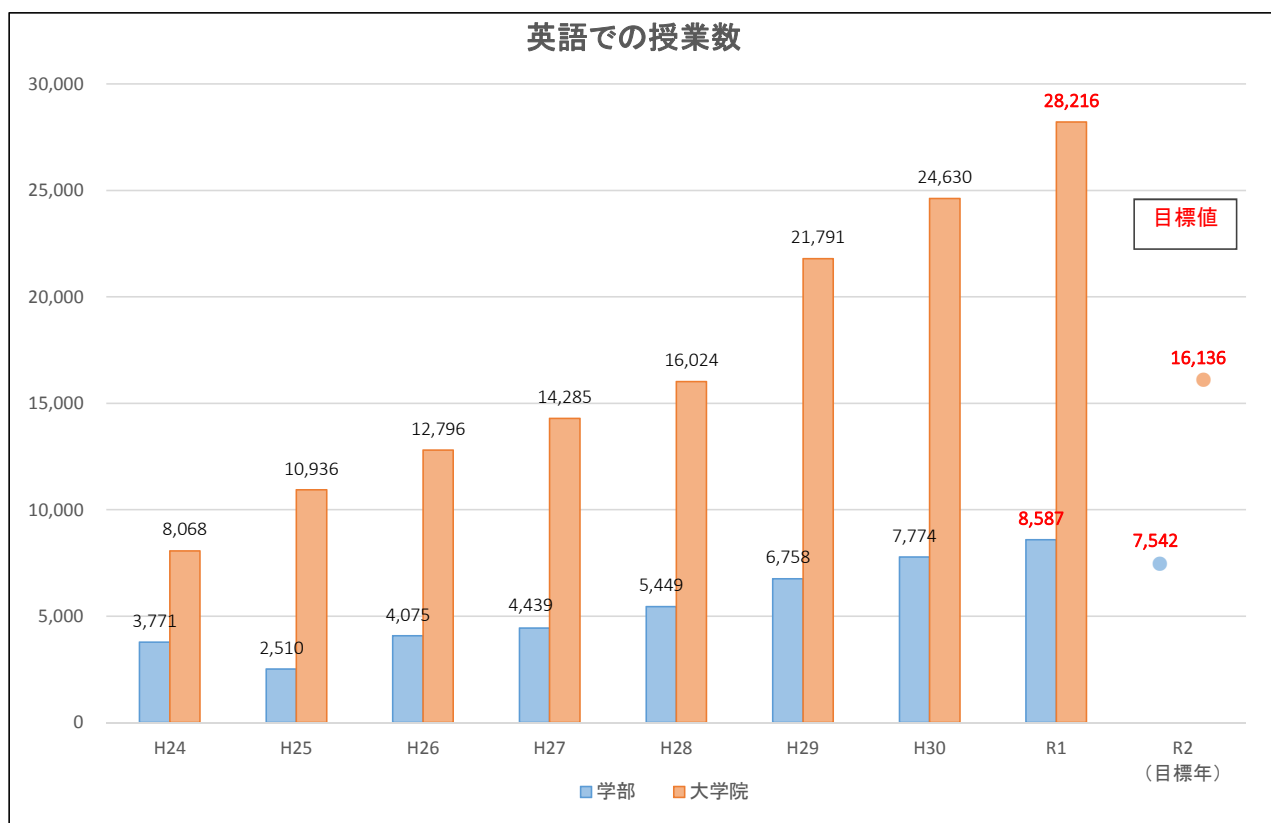
①学部

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
3,771 授業科目	2,510 授業科目	4,075 授業科目	4,439 授業科目	5,449 授業科目	6,758 授業科目	7,774 授業科目	8,587 授業科目

(注)H24年度実績については、数値訂正を反映したため、前回調査時の数値と一致しない。

②大学院

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
8,068 授業科目	10,936 授業科目	12,796 授業科目	14,285 授業科目	16,024 授業科目	21,791 授業科目	24,630 授業科目	28,216 授業科目



(2) 大学の取組み状況

英語での授業を実施している大学数

学部 67 / 82大学 (81.7 %) (前回比: 大学 0 % 増)
 大学院 74 / 86大学 (86 %) (前回比: +1 大学 1.2 % 増)

数値目標の設定

目標 **2020年までに**国際化に関連した数値目標を設定している大学数を**倍増**させることを目指す。

数値目標を設定している大学数

①外国人留学生数に関する数値目標

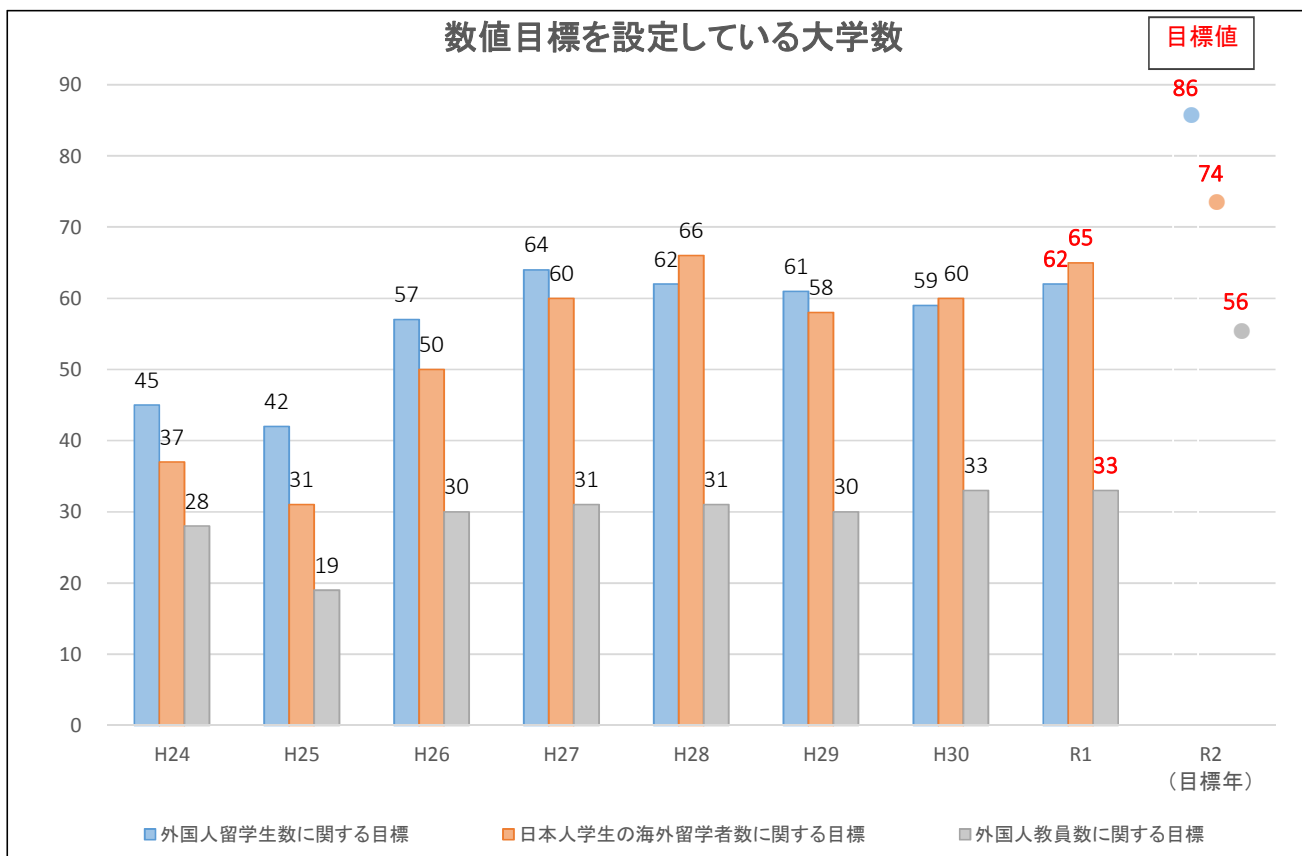
H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
45 大学	42 大学	57 大学	64 大学	62 大学	61 大学	59 大学	62 大学

②日本人学生の海外留学者数に関する数値目標

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
37 大学	31 大学	50 大学	60 大学	66 大学	58 大学	60 大学	65 大学

③外国人教員数に関する数値目標

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
28 大学	19 大学	30 大学	31 大学	31 大学	30 大学	33 大学	33 大学



5. その他

(1) 英語による授業のみで学位が取得できるコース等

① 留学生のみに限定されているコース等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	5 大学	6.1%	5 大学	6.1%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	38 大学	44.2%	36 大学	41.9%	+ 2 大学	2.3% ↑

② 留学生のみに限定されていないコース等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	13 大学	15.9%	16 大学	19.5%	- 3 大学	-3.7% ↓
大学院 (全86大学)	53 大学	61.6%	54 大学	62.8%	- 1 大学	-1.2% ↓

(2) 外国人学生向けの特別なプログラム等の設置

① 1ヶ月未満のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	46 大学	56.1%	41 大学	50.0%	+ 5 大学	6.1% ↑
大学院 (全86大学)	38 大学	44.2%	37 大学	43.0%	+ 1 大学	1.2% ↑

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語26大学、英語36大学 / 大学院：日本語21大学、英語31大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語23大学、英語34大学 / 大学院：日本語16大学、英語34大学

② 1ヶ月以上6ヶ月未満のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	43 大学	52.4%	42 大学	51.2%	+ 1 大学	1.2% ↑
大学院 (全86大学)	39 大学	45.3%	34 大学	39.5%	+ 5 大学	5.8% ↑

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語31大学、英語32大学 / 大学院：日本語28大学、英語34大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語30大学、英語31大学 / 大学院：日本語23大学、英語31大学

③ 6ヶ月以上のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	47 大学	57.3%	47 大学	57.3%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	46 大学	53.5%	46 大学	53.5%	0 大学	0.0% →

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語41大学、英語30大学 / 大学院：日本語39大学、英語39大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語40大学、英語32大学 / 大学院：日本語38大学、英語38大学

(参考) 世界に対して広く募集している短期留学プログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	19 大学	23.2%	19 大学	23.2%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	16 大学	18.6%	14 大学	16.3%	+ 2 大学	2.3% ↑

募集の対象を協定校や交流実績のある大学に絞ったり、教職員の国際的なネットワークによる募集ではなく、例えばHP等で応募者を広く世界から募っているプログラム

(3) 4月以外の入学時期の導入

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	16 大学	19.5%	16 大学	19.5%	0 大学	0.0% →
	導入する予定	1 大学	1.2%	0 大学	0.0%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入していない	65 大学	79.3%	66 大学	80.5%	- 1 大学	-1.2% ↓
大学院 (全86大学)	導入している	76 大学	88.4%	76 大学	88.4%	0 大学	0.0% →
	導入する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	導入していない	10 大学	11.6%	10 大学	11.6%	0 大学	0.0% →

(4) ①4学期制の導入(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	35 大学	42.7%	34 大学	41.5%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入する予定	0 大学	0.0%	3 大学	3.7%	- 3 大学	-3.7% ↓
	導入していない	47 大学	57.3%	45 大学	54.9%	+ 2 大学	2.4% ↑
大学院 (全86大学)	導入している	36 大学	41.9%	37 大学	43.0%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入する予定	0 大学	0.0%	1 大学	1.2%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	50 大学	58.1%	48 大学	55.8%	+ 2 大学	2.3% ↑

(4) ②柔軟な学事歴の導入(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	17 大学	20.7%	17 大学	20.7%	0 大学	0.0% →
	導入する予定	2 大学	2.4%	2 大学	2.4%	0 大学	0.0% →
	導入していない	63 大学	76.8%	63 大学	76.8%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	導入している	23 大学	26.7%	20 大学	23.3%	+ 3 大学	3.5% ↑
	導入する予定	0 大学	0.0%	1 大学	1.2%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	63 大学	73.3%	65 大学	75.6%	- 2 大学	-2.3% ↓

(5) ダブルディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	実施している	9 大学	11.0%	10 大学	12.2%	- 1 大学	-1.2% ↓
	実施する予定	1 大学	1.2%	1 大学	1.2%	0 大学	0.0% →
	実施していない	72 大学	87.8%	71 大学	86.6%	+ 1 大学	1.2% ↑
大学院 (全86大学)	実施している	52 大学	60.5%	47 大学	54.7%	+ 5 大学	5.8% ↑
	実施する予定	4 大学	4.7%	9 大学	10.5%	- 5 大学	-5.8% ↓
	実施していない	30 大学	34.9%	30 大学	34.9%	0 大学	0.0% →

(6) ジョイントディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	実施している	1 大学	1.2%	0 大学	0.0%	+ 1 大学	1.2% ↑
	実施する予定	2 大学	2.4%	2 大学	2.4%	0 大学	0.0% →
	実施していない	79 大学	96.3%	80 大学	97.6%	- 1 大学	-1.2% ↓
大学院 (全86大学)	実施している	8 大学	9.3%	8 大学	9.3%	0 大学	0.0% →
	実施する予定	8 大学	9.3%	9 大学	10.5%	- 1 大学	-1.2% ↓
	実施していない	70 大学	81.4%	69 大学	80.2%	+ 1 大学	1.2% ↑

(7) 国際バカロレア入試の導入

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	導入している	16 大学	18.6%	13 大学	15.1%	+ 3 大学	3.5% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	2 大学	2.3%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	69 大学	80.2%	71 大学	82.6%	- 2 大学	-2.3% ↓

(8) — ① 留学生宿舎の整備【大学の所有宿舎】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	整備している	80 大学	93.0%	79 大学	91.9%	+ 1 大学	1.2% ↑
	整備する予定	0 大学	0.0%	2 大学	2.3%	- 2 大学	-2.3% ↓
	整備していない	6 大学	7.0%	5 大学	5.8%	+ 1 大学	1.2% ↑

(今回調査)整備戸数=21,175 整備予定戸数=0

(前回調査)整備戸数=19,211 整備予定戸数=364

(8) — ② 留学生宿舎の整備【民間企業等との法人契約による借上げ】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	整備している	21 大学	24.4%	24 大学	27.9%	- 3 大学	-3.5% ↓
	整備する予定	1 大学	1.2%	2 大学	2.3%	- 1 大学	-1.2% ↓
	整備していない	64 大学	74.4%	60 大学	69.8%	+ 4 大学	4.7% ↑

(今回調査)整備戸数=1,967 整備予定戸数=10

(前回調査)整備戸数=1,865 整備予定戸数=30

(8) — ③ 留学生宿舎の整備【自治体等所有宿舎の大学への専用居室の割当て】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	整備している	16 大学	18.6%	16 大学	18.6%	0 大学	0.0% →
	整備する予定	3 大学	3.5%	2 大学	2.3%	+ 1 大学	1.2% ↑
	整備していない	67 大学	77.9%	68 大学	79.1%	- 1 大学	-1.2% ↓

(今回調査)整備戸数=351 整備予定個数=46

(前回調査)整備戸数=328 整備予定個数=136

(9) — ① 大学独自の奨学金制度の導入【外国人留学生向け奨学金制度】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	設置割合	大学数	設置割合	大学数	設置割合
大学 (全86大学)	導入している	66 大学	76.7%	67 大学	77.9%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	導入していない	20 大学	23.3%	19 大学	22.1%	+ 1 大学	1.2% ↑

(9) — ② 大学独自の奨学金制度の導入【日本人学生向け海外留学奨学金制度】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	導入している	76 大学	88.4%	74 大学	86.0%	+ 2 大学	2.3% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	1 大学	1.2%	0 大学	0.0% →
	導入していない	9 大学	10.5%	11 大学	12.8%	- 2 大学	-2.3% ↓

(10) 留学先大学で履修科目の単位認定の実施

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	実施している	82 大学	95.3%	82 大学	95.3%	0 大学	0.0% →
	実施する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	実施していない	4 大学	4.7%	4 大学	4.7%	0 大学	0.0% →

5 (11). 大学として支援している、留学生の在留管理に係る手続きについて(自由記述)

(主なもの) ※件数については、本設問において回答があったもののうち、3大学以上から回答があったものについて表示。

【入学時～卒業時(就職活動含む)における手続きについて、対応に苦慮していること】

○ 入学前

- ・ 在留資格認定証明書の申請から発行までの時間の長期化(10件)
- ・ ビザの発行が間に合わない学生の来日の遅延に対する対応(5件)
- ・ 申請手続きに係る学生からの書類提出の遅延や書類不備への対応(5件)

○ 在学中

- ・ 長期帰国者、休学者及び在留期間更新者に対する在留管理(4件)
- ・ 在留期間更新手続きを行わない学生への対応
- ・ 学生の資格外活動(アルバイト等)の状況把握
- ・ 在留資格の変更・更新手続きに係る対応・指導および発行までの期間の長期化

○ 卒業、修了後

- ・ 卒業、修了等で帰国する学生への指導と対応(在留資格の変更手続きの指導等)(5件)
- ・ 離籍後の学生の在留資格の確認(3件)
- ・ 特定活動への変更に係る推薦状発行の基準及び卒業後の留学生が在留することによって生じる、大学が負うべき責務の範囲が不明確であること(3件)

○ その他

- ・ 在留カードの取得、更新に係る情報の入手

【国等に要望したいこと】

(主なもの)

- 在留資格認定証明書申請に係る手続きの簡素化(申請書様式の改善、電子媒体での提出等)(8件)
- 入国管理局における審査の迅速化(10件)
- 入国管理局における体制の強化(法人専用窓口の設置、多言語への対応、対応の統一 等)(10件)
- 入国管理局から所属機関への各種情報発信の強化及び在留期間更新者に係る情報提供システムの構築(6件)

6. 自由記述(教育の国際化に関する事柄)

(主なもの) ※件数については、本設問において回答があったもののうち、3大学以上から回答があったものについて表示。

【対応に苦慮していること】

○ 留学生の増加に関すること

- ・ 留学生宿舍の確保・管理運営(9件)
- ・ 留学生への奨学金等の経済的支援の拡大と制度の周知(3件)
- ・ 留学生の日本語能力及び基礎学力を向上させるための体制(3件)
- ・ 他国の教育制度等に関する情報の不足
- ・ 異なる生活習慣に係る対応
- ・ 卒業・修了後の就職支援
- ・ 事故・事件発生への対応
- ・ 留学生の受入れ教員、チューターの確保(5件)
- ・ 成績・出席不良者への指導・対応

○ 日本人学生の海外留学に関すること

- ・ 奨学金等の経済的支援の拡大(3件)
- ・ 海外留学に係る安全危機管理体制の整備(学生への事前指導含む)(4件)
- ・ 日本人学生の外国語能力の向上(4件)

○ 講義及びプログラムについて

- ・ 英語開講科目の開発・拡大(3件)
- ・ 国別、大学別で各種プログラムが少人数で実施されることに伴う、入試、教育の複雑化
- ・ 双方向授業実施のための環境整備と支援(3件)
- ・ 他国との単位制度の相違によって生じる単位互換や単位認定の困難

○ 国際化に対応する教職員の不足及び教職員の英語能力向上(10件)

○ 海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)に係る事務手続きの複雑化

【他大学との情報交換を行いたいこと】

- 安全管理に関する危機管理体制や危機発生時における対処方法の具体的取組事例(5件)
- 外国人学生を短期間(6カ月未満)受け入れる際の手続きや対応事例
- 日本人学生の海外派遣(渡航先の確保、学生の選抜や研修、海外インターンシップの単位化の事例等)(4件)
- 留学生に対する経済支援、生活支援、就職支援(7件)
- 留学生宿舍の確保・運営(4件)
- 単位互換制度の運用
- ダブルディグリーやジョイントディグリープログラム等の構築(学位、法務、カリキュラム、質保証等)(3件)
- 国際化に対応する人材の育成と確保
- 事務作業の効率化のグッドプラクティスの共有
- 留学生との卒業後のネットワーク維持に関する取組み、予算、人的資源の設定
- 海外留学経験がその後の学生のキャリアにどのように生かされたかについての事例
- 学部の授業料無償化で影響が懸念される留学生への対応と準備状況
- EU域との学生交流におけるGDPR(EU一般データ保護規則)への対応事例と学内体制の整備

【国等に要望したいこと】

- 大学の国際化・グローバル人材育成・ICTの活用を推進するための予算確保(4件)
- 留学生宿舍を整備するための財政的支援(6件)
- 日本人学生の海外留学と外国人留学生受入の拡大のための経済的支援の継続と拡充(13件)
- 留学生受入れの際の指標となる各種情報(各国の教育制度、出身大学・高等教育機関のランキング等)について、国主体での収集・分析及び各大学への共有
- 留学生、ダブルディグリー・ジョイントディグリーに関する定員緩和措置(3件)
- 国費留学生大学推薦募集要項の英語版の作成
- 外国人留学生への就職活動支援の充実
- 学部授業料無償化による、留学生への影響緩和(留学生へ従前と変わらぬ支援を行うための財源措置)
- 留学生修了者ネットワーク構築のあり方の検討